

施策名：青少年の健全育成

事業名	担当課・室名	ページ
大分県少年の船運航事業	私学振興・青少年課	1 / 2
青少年自立支援対策推進事業	私学振興・青少年課	2 / 2

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成30年度)

(評価実施年度：令和元年度)

別紙2-4

事業名	大分県少年の船運航事業		事業期間	昭和55年度～令和 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造			
						施策区分	青少年の健全育成			
総合評価	A 継続・見直し		事業実施課(室)名	私学振興・青少年課		評価者	私学振興・青少年課長 森 優子			

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	青少年の日常生活における実体験不足等が指摘される中で、青少年の豊かな心をはぐくむため体験活動の機会の確保が求められている。	事業の目的	体験活動プログラムを通して参加者の規範・社会性への意識の醸成、ひいては心身ともにたくましい青少年の育成を図るため、少年の船運航事業に要する経費について補助する。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①少年の船運航事業への補助 少年の船運航事業(船内研修・環境教育・平和教育など)に要する経費の一部を補助(参加者600人) ②リーダー・班長研修の実施 小学生団員の研修効果を高めるための事前・事後研修(8回)	①	44,017	総コスト	55,214	54,968	55,337
	②	2,951	事業費	47,214	46,968	47,337
	③		(うち一般財源)	41,582	41,336	41,705
	④		人件費	8,000	8,000	8,000
	計	46,968	職員数(人)	0.80	0.80	0.80

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
乗船応募者数(小学生：人)	目標値		278	278	278		94%	目標値							a
	実績値		425	460				実績値							
	達成率		152.9%	165.5%				達成率							
リーダー・班長研修の開催(回)	目標値		6	6	6		6%	目標値							
	実績値		7	8				実績値							
	達成率		116.7%	133.3%				達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
乗船した社会人リーダー数(累計：人)	目標値		217	225	233		a	県内各地から参加した小学生が、4泊5日の集団生活を通じて、規範意識・協調性・コミュニケーション能力や対人関係能力などの社会性の向上を図ることができた。また、船内や沖縄での現地学習を通じて、平和を愛する心や環境保全意識の育成も図ることができた。さらに、スタッフとして乗船したリーダーがたくましい青少年に成長していく姿が見られた。
	実績値		222	230				
	達成率		102.3%	102.2%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 小学生の応募倍率の増 参加者一人ひとりが満足感、充実感を感じられる研修プログラムの再構築 特別な支援が必要な団員に対するきめ細やかな支援のあり方 小学生団員の研修効果を高めるためのスタッフ対象の事前研修の充実 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 大分県少年の船公式フェイスブックやポスター等各種広報媒体を活用した事業周知の強化 教育の専門家を含めた研修プログラム検討会の実施 特別な支援が必要な小学生団員への専門的な対応のため、スタッフの確保及び研修の充実 				

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成30年度)

(評価実施年度：令和元年度)

事業名	青少年自立支援対策推進事業	事業期間	平成19年度～令和 年度	政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	
				施策区分	青少年の健全育成	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	私学振興・青少年課	評価者	私学振興・青少年課長 森 優子

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	インターネットなどの情報通信技術の進展、非正規雇用をはじめとする経済・雇用環境の急激な変容など、青少年を取り巻く社会環境の変化になじめない若者への支援が課題となっている。	事業の目的	ニート・ひきこもりなど社会生活を円滑に営む上での困難を有する青少年の社会的自立を支援するため、本人やその家族からの相談に応じた適切な支援先につなぐ総合相談窓口を運営する。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①おおいた青少年総合相談所の運営 青少年の相談・支援を行う3機関を1か所に集約して開設した「おおいた青少年総合相談所」を運営(平成26年度～) ②青少年自立支援センターの運営 おおいた青少年総合相談所内で青少年自立支援センターを運営し青少年及びその保護者などへの総合相談を実施 委託先：特定非営利活動法人おおいた子ども支援ネット	①	16,798	総コスト	31,034	34,877	35,595
	②	13,454	事業費	26,034	29,877	30,595
	③		(うち一般財源)	10,930	19,877	17,197
	④		人件費	5,000	5,000	5,000
	計	30,252	職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	連携先支援機関・団体数(団体)	目標値	52	53	54				56%	目標値					
	実績値	69	69					実績値							
	達成率	132.7%	130.2%					達成率							
青少年自立支援センターの周知・広報件数(件)	目標値	125	130	135			44%	目標値							
	実績値	192	186					実績値							
	達成率	153.6%	143.1%					達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
青少年自立支援センター相談件数(件)	目標値	1,080	1,090	1,100			a	おおいた総合相談所の移転による利用者の利便性の向上、広報活動の強化の結果、おおいた総合相談所の相談件数が増加した。青少年自立支援センターにおいても来所者数が増加した。また、支援機関等へのアプローチ支援による相談件数も増え、関係支援機関との連携充実を図ることができた。
	実績値	1,443	1,750					
	達成率	133.6%	160.6%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 本人の支援ニーズや実態に応じて、より多くの当事者が次の支援先につながるような支援が必要 相談に来られない青少年や家族等への支援(訪問支援等)の充実 市町村相談窓口(自立相談支援窓口、生活困窮者支援窓口)の利用促進及び各地域における支援機関・団体、市町村、学校等のネットワークの強化 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> まちなか活用による体験学習等、自立に向けた自立支援プログラムを引続き提供 来所が困難な青少年等に対する支援(訪問支援等)の充実 相談者に身近な市町村の自立相談支援窓口の利用を促すとともに、各市町村に対して子ども・若者支援地域協議会等、支援ネットワークの設置及び機能強化を支援 				